

緑の風

京都教育大学 環境教育実践センター 発行

第3号 2011年 7月7日

環境教育の研修会

懐かしの木々

センターの四季

センターの花々

センター長の研究成果

スタッフから



7月初旬のセンター玄関前

環境教育センターの新しい取り組み

地球デザインスクール、富良野自然塾と連携した環境教育プログラムを始めます

環境教育実践センターでは、今年から、NPO法人地球デザインスクールや、倉本聰氏が主宰する富良野自然塾と連携して、丹後半島の「海と星の見える丘公園」を会場にして、現職の先生方を対象とした環境教育に関する研修会を行います。教員をめざす学生たちも参加することができます。

東日本大震災を受けて、防災や地域のあり方、エネルギー問題など様々な課題が浮かび上がってきました。こうした中、環境教育の重要性が一層高まっています。センターでは、従来とはひと味違った環境教育のプログラムを提供しようと準備してきました。

プログラムの特徴

環境教育といえば、自然体験活動を主とするものが多いのですが、これまでは、そうした体験や活動が、自然の仕組みや人間の営みを深く理解することとうまく結びつくように設計されているとは、必ずしも言えませんでした。

・地球史から環境を考える

そうした点に焦点をあて、今回の取り組みでは、特に地球史から環境を見直して、地球とそこに住む人類の営みを考える、という企画をしてみました。46億年の地球の歴史を460mの

道として再現し、地球の誕生から現在までを歩きながら、環境問題について検討していきます。また、地面に転がっている岩石のかけらを取り上げて日本列島の誕生から今日までの環境変化を探ります。



・漂着物から人々の営みを考える

海岸への漂着物を通して、日本とその周辺の国々の人々の生活について考えるという講座も用意しました。

・演劇的手法を学び発表する

そうした講座を参加者がどう受け止め、環境問題についてどう考えたかを、最終的には演劇的手法でプレゼンテーションします。このために、わざわざ北海道富良野から指導者に来ていただき、演劇的手法の神髄を学びながら、楽しい発表会としたいと考えています。

・素晴らしい会場での3日間

会場の「海と星の見える丘公園」は、天橋立近くの丘の上の広大な森の中にある素晴らしい立地で、まるで映画ジェラシックパークに出てきそうな風景が広がっています。しかも、丹後半島の日本海側は、ユネスコからジオパーク指定を受けた世界有数の場所でもあります。

プログラム概略

- 日時 8月22日(月)～24日(水)
- 22日午後 オープニング、地球の道
- 23日午前 石から見える地球の歴史
午後 漂着物から見える生活と環境、演劇的手法によるコミュニケーション力の養成
- 24日 演劇的手法による発表会
閉会

1日だけの参加も可能です。

詳しい案内および申込は、大学企画広報課で行っています。

企画広報課

Tel: 075-644-8125, Fax: 644-8515

E-mail: kouhou@kyokyo-u.ac.jp

懐かしの木々 (1) 田淵春三 (本学名誉教授)



附属高校では当初、正門を入ったところち植栽されたが、後に現在地に移され、コゲラの営巣する並木となって往事を偲ぶ唯一のよすがとなっている。



1977年、附属高校在学中にポプラに深い関心を寄せていたA君が、進学先の信州大学に植えるべく多数の穂木を採取し、松本のキャンパスで苗を育て、後を後輩に託したという。信州大のどこかで京教大のポプラの後裔が屹立している筈、対面が楽しみである。

センターの四季

6月の農業実習

- 2日 タマネギの収穫
- 9日 田植え, トマト接ぎ木苗植え付け
- 16日 サツマイモの植え付け, 緑のカーテン準備
- 23日 緑のカーテン設置, 落花生定植, イチゴ苗養成
- 30日 花壇の管理, コンテナガーデニング, ヤングコーン収穫



コゲラの住むポプラ

タラララ・・・ 環境センターの入り口あたりでキツツキの乾いたドラミングが降ってきた。音を辿って、その主が高校通用門のポプラの天辺近くの枯れた幹のコゲラと突き止めた。それを眼で追いながら、ポプラの来し方に想いを致した。

1967年、附属高校創設に伴い、農場(環境センターの前身)の建物を現在地に移築し、同時に本格的な植樹計画をたてた。畜舎には北海道の牛舎を象徴するポプラを夢想した。樹種はあくまでも細く直立して枝を上へ上げるセイヨウハコヤナギ(ポプラ)でなければならない。幸い大学本部の事務棟南に、この種がからくも残っていたので、これを用いた。秋、棒状の挿し穂を畑地にズブリと挿した。天地逆にしても発根するという通説どおり、全てが活着。すくすくと伸びた2m余の苗木8株を、翌年秋に畜舎北側に定植した。成長の早さは驚くべきもので、初年に1.8m、2年目には2mも伸長し、20年を経たときには、樹高10数m、胸高径80cmにも及び、風にそよぐ並木は私の夢を見事に適えてくれた。豊かな緑陰は農業実習の場として活用され、一面に落ち敷いた葉は腐葉土作りの好個の材料となった。

しかし、成長の早いことは寿命の短いことを意味している。80年代の末には、幹に空洞ができるものや台風で傾くものが出たので、安全確保のため数年をかけて伐採した。

一方、残った苗木は1969年に山科の小学校、右京の中学校、そして附属高校に贈った。

附属桃山中学生の職場体験学習



附属幼稚園児によるジャガイモの収穫



センターの花々

ハンゲショウ (半夏生, 半化粧) (*Saururus chinensis*)

ドクダミ科。夏至から11日目の半夏生の頃に葉の一部が白くなるからこの名がついたと言われる。あるいは、先端の数枚の葉の表だけが白くなるから半化粧だとも言われます。

ドクダミは、花の下に4枚の白い苞がありますが、ハンゲショウで白化を起こす葉は、決まって花序に向かい合った葉、すなわち花序の付け根にある葉です。まだ苞になりきっていないということで、ドクダミよりは原始的だろうと書かれています。



梁川先生の研究が週刊トマトにとりあげられました

梁川先生と大西千代恵さん（京都府おふくろ名人）との共同研究の成果が、週刊トマトに3ページにわたって紹介されました。ニュースターでも、別の機会に詳しく紹介する予定です。



スタッフから

岡本正志

丹後での新しいプロジェクトを開始します。様々な方々のご協力をえて、なんとかスタートまで来ました。改良を加えながら、良いものにしていければと願っています。

辻 俊夫

連日の猛暑が続く中、節電節電と騒がれておりますが、先日、とある深夜の討論番組で原発や節電問題を取り上げていました。就寝前にその番組を一瞥した、妻が一言、「こんな時間にテレビ放送してること自体節電になってへんやん！」

越智周作

珍客来場。田植えから1週間後の金曜日13時すぎ、合鴨のつがい今年もきていました。



橋本徳子

栽培補助として週一度、お世話になっています。センターには、様々な草花や野菜がどの季節にも栽培されていて、四季を感じながら仕事をしています。背だけを越えたトウモロコシや可愛い実を付けたブドウ、緑のカーテン、夏のセンターは緑のエネルギーいっぱいです。今後ともよろしくお願ひいたします。

Special section 特集

お茶の主な6成分とは？

さまざまな成分を含むため、渋み、苦み、うまみといった独特の味わいを生み出すお茶。代表的な成分と効用をチェック！

- タンニン**：殺菌作用や整腸作用のほか、食中毒の予防や生活習慣病の予防に。
- ビタミン類**：美肌効果のあるA・C・Eのほか、B1・B2はエネルギー代謝を促進。
- アミノ酸類**：特にテアニンが多く含まれ、脳神経を活性化したり、精神を安定させる。
- フラボノイド**：口臭の原因である細菌の繁殖を防ぎ、口臭を予防する。
- カフェイン**：利尿作用や気分のリフレッシュ、疲労を取り除く効果がある。
- フッ素**：歯みがき粉に含まれており、歯垢予防と初期虫歯の進行を抑制する。

お茶は健康によい成分が豊富！

緑茶には健康維持、老化防止など多くの効用があることが知られています。食べ物の茶葉を取り入れることで、飲みよりも効果的にお茶の成分を摂取できます。お茶利用は、化学調味料が不要、殺菌効果など、安全や長期保存等の観点から有意義です。

梁川 正 先生プロフィール
農芸学や食の環境の教育、研究のほか、宇治市市民と協力して、茶葉の利用について、開発、研究を推進する。

梅漬け＆梅酒

梅酒
梅は汚れを落とし、1時間水につけてアクを抜き、ふきんで水気を取る

梅漬
①容器に青梅、ホワイトリカーまたは、焼酎2L、水砂糖、緑茶葉60gを入れてふたをする
②約1ヵ月半後、梅を取り出して、約3日間日陰で土用干しする
③容器に梅を戻し、ホワイトリカーまたは焼酎300ccと緑茶葉40gを加える

梅漬け
①容器に食品用スプレーでホワイトリカーをひかりけた青梅、塩400g、緑茶葉50gを入れ、2-3日間置く
②水気を切った赤シソをふきんに包み、塩30gでよくもむ。灰色のアクが出てきたらアクを捨て、塩30gを足し、紫色のアクが出るまでよくもむ
③①に70℃まで冷ましたお湯と緑茶葉50gを入れ、温度が下がったら、②を入れ、梅が液に浸かるようにする
④約1ヵ月後、梅を取り出し、3日間日陰で土用干しすれば完成

教育について考えるワークショップ

バイオマスエネルギーと環境教育

—木質ペレットの意義、有効性を考える—

日時 7月28日(木) 13:00-16:00
講演者 伊井野雄二氏
(NPO法人 赤目の里山を育てる会 理事長)

会場 京都教育大学 環境教育実践センター (附属高校横)

参加自由
実際に木質ペレットを作り、その意義や有効性、里山保全などについて一緒に考えます。
主催 京都教育大学教育支援センター
連絡先 環境教育実践センター 岡本まで
TEL. 075-641-3874, OKAMOTOM@KYOKYO-U.AC.JP



木質ペレットの意義、有効性を考えるワークショップを実施します。

センター時暦

6月3日(金) 附属幼稚園 タマネギ収穫 年長児59名と教員4名、学生6名

6月7日(火) 附属特別支援学校高等部

センター内水田への田植え

高等部生徒30名と教員9名

6月8日(水) 自然塾打ち合わせ

6月11日(土) 公開講座 「将来の地球環境を支える子ども達に贈る科学実験教室」 始まる3月10日まで、午前クラス 小学生12名受講、午後クラス 小学生9名受講 各6回

6月11日(土) 「園芸と環境監」集中講義 28, 25, 7月2日まで計4日間

6月14日(火) 附属幼稚園 年中児、年長児135名 ジャガイモ掘り及びセンター内見学

6月15日(水) 住吉西保育園 65名 〃

6月16日(木) 伏見住吉幼稚園 63名 〃

6月17日(金) みどり保育園 48名 〃

6月18日(土) うずらの里児童館 90名

6月20日(月) 墨染保育所 53名 〃

6月21日(火) 伏見板橋幼稚園 85名 〃

6月22日(水) 深草児童館 60名 〃

6月23日(木) 西福寺幼稚園 90名、京極幼稚園23名、深草幼稚園40名、伏見南浜幼稚園52名 ボランティア「槐の会」活動 センター内清掃、除草、サツマイモ定植、他

6月24日(金) 中京もえぎ幼稚園 140名

6月26日(日) 夏期環境教育研修会のため の下見・打ち合わせ(丹後海と星公園)

6月27日(月) ドミニコ幼稚園 43名

6月28日(火) 西院幼稚園 53名 〃

6月29日(水) 竹田幼稚園 45名 〃

6月29日(水) -7月1日(金) 附属桃山中学校 「職場体験学習」2年生女子8名受け入れ、計3日間



レンゲ畑から水田に

センターには、いまだ珍しいレンゲ畑がありますが、現在は見事な水田になっています。農業実習の受講生が田植えをしています。センター技術職員の方々が、レンゲを刈り込み、鋤きこみ、代かきなどを行っています。目立たないところの、こうした働きに支えられて、センターが順調に動いているのです。



編集後記

センターの様子や取り組みをできるだけ理解していただけるように、4ページ企画にしてみました。いかがでしょうか。

今号から、田淵春三先生の連載記事が始まりました。環境教育センターの豊富な緑が、どのようにして出来てきたのかを語っていただきます。どうぞお楽しみに。

新しく環境教育に関する研修をスタートさせます。お知り合いの先生方や学生等に参加を呼びかけて頂ければ幸いです。

暑い日が続きます。熱中症にくれぐれもご注意ください。(〇)